

本時のねらい

- ・日記のテーマを決め、文章を考えたり、書いたりすることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・自分に合った入力方法（音声入力・手書き入力等）を使うことで、書字の負担感を軽減する。
- ・読み上げ機能を使うことで、推敲に取り組みやすくなる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリングプラス）

本時で育む主な情報活用能力

J-STEP 3, D-STEP 1
A-STEP 1, E-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



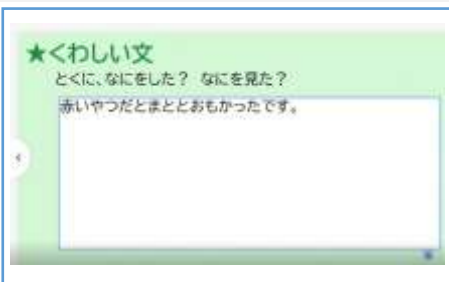
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15 分)	○日記のテーマを確認する。 めあて「日記を書こう」 テーマ「なかよし文化活動に向けた図工の作品を作ったこと」 ○テーマについて話をしながら構成を考える。 【写真 1】	○オクリングプラスを使って構成を考える。 ・図工の作品の写真を見て出来事の流れを思い出すことができる。 ・写真を並び替えて日記に書く順序を決めることができる。
展開 (20 分)	○日記を書く。 ○書いた文を推敲する。 【写真 2】	○大まかな文、くわしい文、気持ちの文をカードに分けて書く。 ・書く観点や文ごとのつながりを意識して書くことができる。 ・予測変換を用い、漢字を使った文章を書くことができる。 ・児童によっては、入力方法（タイピング入力、手書き入力、音声入力）を選択できる。 ○読み上げ機能を使い、書いた文を推敲する。 ・誤字脱字や文と文のつながりの誤りに気付くことができる。 ・テキスト入力にすることで、手書きの文字よりも見直しをしやすく、前向きに取り組めるようにする。
まとめ (10 分)	○書いた日記を読みあい、友達の日記のよさを伝える。 【写真 3】	○オクリングプラスのカードにコメントを書く。 ・いつでもどこでも日記を読むことができ、コメントもできる。 ・友だちからコメントをもらうことで、書く喜びにつなげることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】写真を使って作文の構成を考える



【写真 2】誤字脱字に気づくことができる



【写真 3】友だちの日記にコメントをする

児童生徒の反応や変容

- ・書字が苦手な、これまでは自分の思いを書くことに困難があったが、児童がカードに文を書く際に音声入力を使うことで、自分らしい表現で文を書けるようになった。
- ・スクリブル機能（手書きをテキスト変換する）を使って入力することで、文字の形を意識して書けるようになった。
- ・読み上げ機能を使って推敲をすることで、読字に困難のある児童でも、句点や助詞の抜け、表記の誤りなどに気づくことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・一枚のカードに一つの文を書く形式にし、それぞれのカードに書く観点を示しておくことで、つながりを意識した文を書くことができる。また、書いた内容に応じて、文の順番を入れ替えることができる。
- ・クラウド上でカードをやりとりすることで、他の教室で、または、他の時間に学習する児童とも、書いた文章を交流することができる。